

駱駝

にして、毎年伊犁、喀什噶爾、塔爾巴哈台等より露國に輸出するのみにても、約百萬頭に達すと云ふ。價格は一頭に付銀二兩乃至三兩なりとす。又一頭毎年約半斤の毛を得、一斤の價銀壹錢、即ち我約十五錢内外に當れり。

駱駝の產出は、南路に少なく、北路に多し。殊に故城の附近最も盛なり。蓋し故城は、北洋物貨の集散場にて、北洋の物貨は、張家口より蒙古の戈壁帶を通過し、先づ此地に集る。其の運搬機關としては、駱駝を専用す。尙ほ且つ同地より沙漠を経て、齋桑湖に出で、露國に往復する駝商も亦少しとせず。是れ故城に駱駝飼養の盛なる所以なり。價格は銀三十五兩より四十兩内外とす。

驢馬

纏頭回は、多く驢馬を役して、貨物の運搬及騎乘に充つ。是れ其の價格低廉にして、飼養至便、且つ體軀の小なるに比し、重荷に堪ゆるが故なり。一頭の價五兩内外、喀什噶爾、和闐地方は、最も多く飼養せり。

騾馬

騾馬は、南路よりも、北路に多く産す。其の使用者は清人、漢回にして、専ら輓用とす。纏頭回の之を用ゆるは甚だ少なし。其の良なるものは、大官の乗用輓用に供し、價格銀百兩内外とするも、通常は三十兩以上四、五十兩にて輓力、馱力共に馬より